

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成25年9月定例会● 質疑
塩 史子 議員

地震被災者への支援は

東日本大震災で地震の被害も受けたと思いますが、広野町津波被災住宅再建支援基金は、津波被災住宅だけ該当するのでしょうか。また具体的にはどういったことに使うのでしょうか。

内容を検討しています

この基金は県からの交付金で、津波で被災した住宅を再建する場合のみ使えるものです。具体的な内容は、検討していますが県の交付要綱にそったかたちで支援方針を定めていくことになります。

地震被災者にも支援を拡大

町では、東日本大震災で、津波または地震により被災した住宅再建などに要する費用の一部を補助するため、「広野町地震津波被災者等住宅再建支援事業補助金」を創設しました。最大で、250万円の補助を受けることができます。



町内に建設中の住宅（大吹地区分譲地）

一般質問席

7人の議員が町政を問う

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

町内で生活できる時期の指標は

遠藤町長／帰還宣言を発令したい

渡邊

①町民が不安を払拭し、町

内で生活できるように、行政としてその時期を指標することが必要と思われるがどの様に取り組みますか。
②郡内町村と連携し、帰還困難区域住民の意向を調査し、宅地提供を進め双葉郡コミュニティを維持すべきではないですか。

町長

①多くの町民が、町外での

避難生活を継続している現実を真摯に受け止め、その改善に向け取り組みます。
その上で、適切な時期に町としての帰還宣言を発令したいと考えています。
②双葉郡を構成する自治体として、双葉郡の復興の礎となるよう、郡内住民の想いに応えていきたいと考えています。

このことから、郡内町村と連携し、災害公営住宅の建設や住宅再建のための宅地造成事業を展開していきたいと考えます。

町の水田をどう守るのか

遠藤町長／農業後継者の育成が不可欠

渡邊

①農業後継者不足が問題と

なり、水田を守り継続していくには、水稻栽培収入により生活できる収益を確保出来るような状況の整備が必要であると思いますがどのように考えますか。
②地域担い手の活動拠点となるミニライズセンターを整備し、優良農地の持続的、継続の確保に向けた取り組みをすべきではないですか。

町長

①水稻栽培に

より収益を確保するためには、面的な農地の集約を行い経営規模を拡大することが必要であり、また、水田を守り継続していくためには、農業後継者の育成が不可欠であると考えています。

今後、就農するため大学等で学ぶ者に対する支援制度の創設等も前向きに検討したいと思っています。
②今後の国の農業政策の方針や担い手の意見、農業後継者の展望、本町の耕作面積の見込等を踏まえ、国・県等の関係機関や専門家の意見等を伺いながら検討したいと考えます。



渡邊 正俊 議員



住宅が建設される苗代替宅地



後継者不足が問題となっている農業